



WEEKLY REPORT

高山中央ロータリークラブ

2015～2016 年度 高山中央 RC 会長テーマ

「外に発信 内に達成感 さあ行動しよう！」



◆会長 大保木 正博 ◆幹事 坂之上 健一 ◆会報委員長 谷口 欣也 ◆会報担当 谷口 欣也

創立 1991 年 5 月 20 日

◇事務局 高山市本町1-2

飛騨信用組合本町サテライト出張所 3階

TEL:0577-36-0730/FAX:0577-36-1488

◇例会場 ひだホテルプラザ 3F/TEL:0577-33-4600

◇例会日 毎週月曜日 PM12:30～

◇ホームページ <http://www.takayamacrc.jp/>

<出席報告>

	会員数	出席会員	出席	Make-up	出席率
本日 1082 回	56 名	55 名	45 名	—	81.82%
前々回 1080 回	54 名	53 名	46 名	3 名	92.45%

<点 鐘> 会長 大保木 正博
<ロータリーソング> それでこそロータリー

<会長の時間> 会長 大保木 正博

先週土曜日・日曜日と 2016 年会長エレクト研修セミナー (PETS) に地区幹事として参加しました。今までにない一泊二日の研修となりましたが、参加された皆さんの感想は頗る良く、剣田ガバナーエレクトの意気込みとロータリーにかける情熱が熱く伝わったセミナーでした。地区の委員会部門別に 4 つの分かれた会場を、20 人程度にまとめられた会長エレクトの 4 つのグループが 70 分毎に会場を移動して、全ての部門の研修を受けるスタイルでした。



私は、◎情報部門◎広報 IT 部門◎会員増強部門◎職業奉仕部門の 4 部門の委員長予定者の皆さんが主管される分科会のアシストに入りました。

その中で、何回か職業奉仕について踏み込んだ話し合いがありました。

一つの意見が、「RI が職業奉仕から社会奉仕・人道奉仕へと舵を切る中、既に世界の中で米国が主導する社会構造は終焉を迎えており、日本は四つのテストに照らしたしつかりとした職業奉仕を進めるべきだ」とする意見。

今一つが、「職業奉仕をあまり難しく考えなくてもいいのではないか。普通に会社経営をして利益を出し、雇用を産みだし社員家族の生活を育てている会社なら反社会的組織でない限り、それは充分職業奉仕でありいいのではないか。米国主導の社会構造も終わったとは思わない。」という意見です。

職業奉仕はロータリーにおける根幹の部分ではありますが、この二つの意見のような考え方は、時々人の心に湧いてくるものであって、繰り返し皆でロータリーにおける職業奉仕とはなにかを確認する必要があると考えます。カウンセラーの服部パストガバナーは、「ロータリーの綱領にはっきりとあるように、稼ぎ方を考えるのがロータリー」と言われました。

この意味を私は、次のように考えています。

(例) 1000 円の売り上げを得たという結果は同じでも、その売り上げに至るまでに、売り上げが上がりればそれでよい

という考え方と、この売り上げは顧客・従業員・競争者・協力者いろいろな人たちとの信頼ある関わりの結果であるとする考え方には大きな違いがあります。その違いが企業と事業の継続力と発展性に大きな差をもたらす。これが稼ぎ方を考えるという意味だと思っています。

そしてその指針となるのが、「四つのテスト」であり、「職業奉仕四つの反省」だと思います。

地区の岩田職業奉仕委員長は、会員勧誘の際に「ロータリーに入ると会社がよくなりますよ」と言って勧誘するとおっしゃいました。

また入会してこのロータリーの職業奉仕の考え方を実践されている会員の企業は皆業績が向上していると言われます。

孔子の教えである論語の中に同じような考えがあります。子張、仁を孔子に問う。

孔子曰く、能く五つの者を行くを仁と為す。これを請い問う。

曰く、恭と寛と信と敏と恵なり。

恭なれば即ち侮られず、寛なれば即ち衆を得、信なれば即ち人任じ、敏なれば即ち功あり、恵なれば即ち以て人を使うに足る。

弟子の子張に、「仁の実践はどうすればいいのか」と問われた孔子は、恭、寛、信、敏、恵の五つを挙げている。礼儀正しいと他人に侮られず、おおらかであれば人望が集まり、誠実であれば信頼され、俊敏なら仕事がうまくいき、恵み深ければ人を使いこなすことができる。

自分のためという私利私欲の動機で働いていると、仕事に結果がついてこない。その人が自分のためだけに働いていると、周りの人たちに分かってしまうからだ。仕事というものは思いやりをもってチームのため、人のため、家族のために尽くす姿勢でないとうまくいかないものだ。この考えで続けていくと、その気持ちが周りに伝わっていき、共感や協力が得られていく。そして自分が成長しつつ、何かに貢献することで充実感を味わいながら、対価と他者からの信頼と尊敬を得るといふ、何物にも代えがたいリターンをいただける。という考えです。

この考えは、ロータリーの「最も奉仕するもの、最も多く報われる」という職業奉仕の根本的考え方に合致するものです。

事業の仕方にはいろいろな方法があると思いますが、やはり職業には高い倫理観を伴っていなければならないのではないのでしょうか。

岩田委員長が「ロータリークラブとは」と問われたら「高潔な倫理観を持った職業人の集まりがロータリー」と答えるとおっしゃいました。

こうした考えを目指して実践していくところに、ロータリークラブの会員として所属する意義があり、またロータリークラブの発展があると感じます。

今回のセミナーで一番勉強させていただいたのは、計らずも同じ内容を4回聞くチャンスに恵まれたお手伝いの私だったかもしれません。

<幹事報告>

幹事 坂之上 健一

◎国際ロータリー第 2630 地区ガバナー事務所より

- ・東日本豪雨災害義捐金送金報告
- ・2016 ソウル国際大会 日本人朝食会中止のお知らせ

○平塚湘南ロータリークラブより

- ・創立 25 周年式典出席のお礼状

○高山ロータリークラブより

- ・例会変更のお知らせ
4月14日(木) 休会 定款により
4月28日(木) 新緑家族例会 洲さき 18:00~
・創立 60 周年記念誌贈呈



○高山西ロータリークラブより

- ・例会変更のお願い
4月15日(金) 休会 定款により
4月29日(金) 休会 法定休日
5月6日(金) 休会 定款により

<飛騨高山国際協会より>

- ・平成 28 年度飛騨高山国際協会実務者連絡会議開催について
日時：4月8日(金) 10:00~11:00
会場：高山市役所2階 会議室
- ・平成 28 年外国籍の子供の進学支援事業助成金について

<会長エレクトの時間>

田中 会長エレクト

皆さんこんにちは

本日は12日13日の両日に開催された会長エレクト研修会(PETS)を終え、次年度会長としての想いをお話させていただきます。

初めて2日間のPETS・会長エレクト研修セミナーを開催するに当たり、劔田ガバナーエレクトをはじめ地区理事の皆さん、お手伝いをして頂いた会員の皆様本当にお疲れ様でした。

さて先週の金曜日3月11日は東日本大震災発生から5年がたちかなりの復興は進んでいるものの、未だに仮設住宅に住んで見える方から、不自由な生活を強いられ心の安らぎをも得られない方々、震災に合わせた全ての人に対し心よりお見舞い申し上げます。

陸前高田の奇跡の一本松の事は皆様よく御存じの事とおもいます。先般福井県鯖江市の男性が「奇跡の一本松」の根元に落ちていた松ぼっくりを拾い、翌春まで冷蔵庫に保管していたそうです。すると袋に種子が100粒ほどたまっているのを確認し、その生命力に心打たれ、被災地復興の為に何かできないかと思い、何としても被災地に再び松を取り戻そうと試行錯誤の末、本年まで育てあげ約30本の苗木(50cm)を届けられるまでになったそうです。時として自然の猛威に脅かされ人として到底敵うことのできない我々は、自然に立ち向かうことなく、人としての心(奉仕)を、自然を通じて返すことの偉大さを強く感じさせられました。

奉仕の根本は我々一人一人の心に宿す、善根功德の理想に他ならないと思います。日々世界各地で起こる災害に対したとえ些細なことにして、今できることを精いっぱい心込めて、奉仕させて頂きたいものです。

1日目は、冒頭、服部バスターガバナーより「何故あなたは今ここにいるのですか？」との質問があり、「高山中央ロータリーのエレクトさんどうですか？大変優れた人格の劔田ガバナーエレクトが今ここに居るからではないですか」と聞かれ、即刻、「ハイその通りです。」と答えました。大変嬉しく思いました。他に何も言えませんでした。

我がクラブが誇るべき 劔田 廣喜ガバナーエレクトによるR Iテーマ、地区活動方針、クラブ目標の説明がありました。

R I会長テーマはジョン・ジャーム氏曰く「**人類に奉仕するロータリー**」です。

アメリカサンディエゴでの研修によりR I会長の方針を劔田ガバナーエレクトなりに要約して、説明していただきました。

そして「地区活動方針テーマ」は **最も出席するもの 最も報いられる**

「One profits who attends most」

さらに「ロータリーとは」の命題を考えた時それは「**思いやりの心**」「**助け合いの心**」であると。我々は資本主義の自由競争の中にどっぷりと浸かっています。したがって**本能的かつ利己的**になってしまいがちであるとも言われました。「**奉仕の理想**」「**ロータリーの精神**」「**超我の奉仕**」「**利他の心**」はすべて「**他人への思いやりの心**」であると。ならばどうするのか **人づくり、人格を形成する唯一の場所が例会場である**と。日々会社で行っている事そのものです。ロータリー活動は、例会出席から始まり、親睦を深め奉仕の心を高める事によってさまざまな奉仕活動の実践へと繋がっていきます。(入りて学び 出でて奉仕する)

◎地区目標

1. 地区内クラブの少なくとも51%が会長賞を受賞する
1. 地区財団活動資金(DDF)の少なくとも20%をポリオプラスに寄贈する

1. 年次基金への寄付を前年度よりも5%増やす

1. 地区全体の会員数を3%増やす

◎クラブ目標： 会長賞に挑戦しよう

1. 会員の増強と維持
1. 財団への寄付
1. オンラインツールの利用
1. 人道的奉仕
2. 新世代
2. 公共イメージ

2日目は、10部門の地区委員長の説明を受けデイスカッションにてクラブサポートと強化・公共イメージの認知・人道奉仕の重点化と増加について学びました。

最後に劔田ガバナーエレクトより所見があり神童と仙人の話を伺い

あなたの未来は あなたの自身の 右手が握っている...と会長エレクト研修セミナーを受け、4月には地区研修セミナーが在ります。その後次年度クラブ活動方針を発表させていただきますが、大保木会長からのたすきを繋ぎ第26代目会長としての役割を全うしたいと思います。

1. R I会長賞を受賞致します

1. 会員を61名にします

1. 出席率(会長支持率)を90%台にします



<ニコニコBOX>

昨日の1泊2日のPETSを無事終了する事が出来ました。ガバナーからお褒めの言葉を頂き、会長エレクトの皆様にも納得して頂けたのではないかと思います。これも高山中央ロータリークラブの総合力のお陰だと思います。献身的ご尽力を頂いた地区幹事・会員の皆様に感謝申し上げます。

劔田 廣喜

会長エレクトセミナーに参加された皆様、お疲れ様でした。

橋本 修

一昨日と昨日とPETSに参加しました。劔田ガバナーエレクトを始め地区幹事の皆様そしてお手伝い頂いた皆さま2日間お疲れ様でした。

下田 徳彦

先日は結婚記念日のお祝いをありがとうございました。記念ディナーもサービスしましたので環境は大変良好です。

大保木正博

昨日は「雫宮祭」を無事終える事が出来ました。これも偏に皆様方のご支援の賜物と感謝申し上げます。ありがとうございました。

都竹 太志

本日早退します。よろしくお願ひします。

高橋 厚生